

【都道府県用中間報告書様式】

都道府県番号	16
都道府県名	富山県

【都道府県教育委員会における学力向上フロンティア事業の取組】

I. 学力向上推進地域名及び学校数、学力向上フロンティアスクール数

学力向上推進地域名	小学校 (うちフロンティアスクール)	中学校 (うちフロンティアスクール)	計 (うちフロンティアスクール)
富山県学力向上推進地域	225校 (12校)	85校 (6校)	310校 (18校)

II. 学力向上推進協議会（地区協議会）の設置数及び域内の学校数

地区協議会名	小学校 (うちフロンティアスクール数)	中学校 (うちフロンティアスクール数)	計 (うちフロンティアスクール数)
①魚津地区協議会 (黒部市、魚津市 宇奈月町、朝日町、 入善町)	37校 (2校)	10校 (1校)	47校 (3校)
②富山地区協議会 (滑川市、富山市 大沢野町、大山町、 上市町、立山町、 舟橋村、婦中町、 八尾町、山田村、 細入村)	98校 (5校)	33校 (2校)	131校 (7校)
③高岡地区協議会 (新湊市、高岡市、 氷見市、小杉町、 大門町、大島町、 下村)	63校 (3校)	24校 (2校)	87校 (5校)
④砺波地区協議会 (小矢部市、砺波 市、福光町、福岡 町、井波町、庄川 町、井口村、利賀 村、城端町、平村、 上平村、福野町)	27校 (2校)	18校 (1校)	45校 (3校)

Ⅲ. 都道府県教育委員会としての支援策（実践研究の成果の普及方策の構築、指導資料の作成 等）

○地区別協議会に対して

地区別協議会の事務局を担当する(主任)指導主事との会合を設け（ワーキンググループ）、県教育委員会としての学力向上フロンティア事業のすすめ方の共通理解、各フロンティアスクールの取組み及び各地区の取組みの情報交換等を行ない、地区別協議会が機能するよう支援を行った。

○域内の学校（学力向上フロンティアスクール含む）に対して

○域内の学校に対して

- 1 学校訪問研修会において、フロンティアスクールの取組みを紹介した。
- 2 県教育委員会の「平成15年度幼・小・中学校教育指導の重点」において、新たに学力向上フロンティア事業の成果等を紹介するページを設け、成果の普及を図る。
 - ・事業推進に当たっての本県の基本的な考え方
 - ・14年度の取組みから明らかになったことや事例の紹介
- 3 調査報告書『効果的な少人数授業の在り方Ⅱ』を刊行した。（県総合教育センター）算数・数学の少人数習熟度別指導における個に応じたきめ細かな指導の在り方について、次の4つの観点から研究を行い、その成果等を掲載した。特に少人数授業の効果を情意面だけでなく、数値として表すように努めた。
 - ①豊かな教材の作成
 - ②指導の工夫改善
 - ③学習内容の分析・考察
 - ④児童生徒・保護者の理解を深める説明責任
- 4 県教育委員会指導課のホームページに研究成果を掲載する。

（平成14年度末に掲載予定）

 - ・全フロンティアスクール（小学校12校、中学校6校）の実践研究の紹介
（15年度は、随時更新していく予定）

○学力向上フロンティアスクールに対して

- 1 担当指導主事による学力向上フロンティアスクールへの訪問
この事業に対する県教育委員会の基本的な考え方の理解、学習内容の定着を図るための方法の紹介、研究の進め方の相談などを行なうため、担当指導主事によるフロンティアスクールへの訪問を適宜行った。特に初年度は、各フロンティアスクールは試行錯誤の中での取組みであり、悩みを聞いたり、研究の方向性を知ったりすることは、有効であった。

(1) 情報の提供

- 学習内容の定着（成果）を数値的に示すための方法の紹介
 - ・ t 検定（統計的に数値の有効性を調べるための1つの方法）の紹介
 - ・ 県総合教育センターの「「少人数授業の在り方」の調査研究の紹介等）
- 豊かな教材の作成のための方法の紹介
 - －複数の教科書の比較による教材研究－
 - ・ 複数の教科書の比較・活用は、実践に生かせる極めて有効な方法
 - ・ 異校種の教科書比較も含めて、一層活用できる可能性がある。
 - ・ 同校種、異校種の授業参観も、貴重な教材研究の場

(2) 相談

- ・ 研究体制について
- ・ 成果を数値的に示すことについて など

(3) 研究経過・成果の普及について

研究成果は指定最終年度に「発表会」として普及を図るのではなく、公開授業、インターネット、学校だより等、日常的な取組みを積極的に公開・広報することで普及を図るよう指導助言に努めた。

IV. 学力把握のための都道府県としての取組について

(例：全県的に定期的な学力調査を実施（年1回）、等）

県としては学力調査は実施していないが、小学校、中学校ともに、小学校教育研究会、中学校教育研究会が実施している。

○ 実施状況

県小学校教育研究会及び県中学校教育研究会の学力調査

小学校3年生以上の全児童を対象に年1回、3年生は国語、算数、4年生以上は国語、社会、算数、理科の学力調査を実施している。

中学校教育研究会では、全中学生を対象に4月と11月の年2回、国語、社会、数学、理科、英語（1年生の4月は未実施）の学力調査を実施している。

また、県教育委員会としては、平成12年度から、基礎的・基本的内容について過去と同じ問題を出題するとともに、その正答率等の比較・分析を依頼し、学習状況の把握と改善に努めている。

今後、両教育研究会相互の連携を強め、小中学校を見通した学力の向上を図る方法についても働きかけていきたい。

V. 学力向上推進協議会について

○開催時期（参加対象）

（第1回）10月（学識経験者、保護者、小学校教育研究会、中学校教育研究会、県総合教育センター、教育事務所、フロンティアスクール）

○テーマと主な協議内容（協議の中で提示された成果や課題など）

（第1回）「テーマ：学力向上フロンティア事業の推進」

主な協議内容

1 学力向上フロンティアスクールにおける取り組みの状況（○成果 △課題）

（1）個に応じた指導のための教材開発

○ つまずきの実態や学習の系統性を考えた教師自作の学習教材を使うことで、学ぶ意欲と方法が伴った学習を展開している。

（2）個に応じた指導のための指導方法、指導体制の工夫改善

○ 指導のねらいや内容、児童生徒の実態等を踏まえて、習熟度や興味・関心、課題等に応じた学習集団を編成して指導を行う。

〔 学年・教科・単元等の特性を踏まえ、様々な方法（同人数の少人数集団に分ける、習熟度によって分ける、課題によって分けるなど）を併用した指導を行う等、少人数指導を固定化しないで柔軟にとらえる。〕

△ 習熟度別学習では、実態把握をより確実にし、子どもの学力やニーズに合ったコース分けを行う必要がある。

（3）学力の評価を生かした指導の改善

△ 学力向上の成果を情意面だけでなく、数値的にどのように測定・評価するか。

2 今後の課題

（1）基礎基本の定着とともに、主体的に学ぶ力の育成をバランスよく育成するため、「総合的な学習の時間」における取組みをどのように推進していくか。

（2）フロンティアスクールにおける成果等を県内全域へ効果的にどのように広めていくか。

VI. 実施計画書において示した「事業評価の実施方法・内容」とその進捗状況

(事業評価の実施方法・内容)

1 基本方針

- ・ 評価のシステムを生かした実践研究を推進し、その取組みを評価する。
- ・ 評価の視点の事前提示

2 評価を行うための視点

(1) 指導計画の段階

- ・ 教育課程への位置付けがなされているか。
(創意工夫、研修体制、事業の趣旨の共通理解 など)
- ・ 3年間を見通した研究であるか。
(年度の重点が明確、年次計画への発展的な位置付け など)

(2) 実施(実践)の段階

- ・ 円滑に進み、効果をあげているか。
(子ども、教師、保護者、地域住民などからの継続的な評価の実施 など)
- ・ 効果的な取り組みであることが検証されているか。
(行動・態度・学力面など、成果の評価のみでなく、研究計画・方法等の観点を含む、小中教研の学力調査の活用 など)
- ・ 積極的に成果(経過)の普及に努めているか。(地区、他地区小中学校などへの授業公開、ホームページでの研究経過の紹介 など)

3 評価の活用

- (1) 改善すべき点を明確にし、その改善・修正を必ず行って実質的な成果をあげるための指導・助言に生かす。
- (2) 実施協議会、学力向上推進協議会への情報提供

(進捗状況(成果、課題 等))

- ・ 県教育委員会では、各フロンティアスクールでは、県が示す基本方針、評価を行うための視点を十分理解し、実践研究を行っているものと考えている。
- ・ 年度末には、各フロンティアスクールが自己評価するとともに、県としても報告書などにより評価を行い、次年度への課題を整理することで、事業計画の改善を図る。
- ・ 次年度は、数値化項目、成果指標等も示し、評価を実施するようにしたい。

【地区別協議会における特色ある取組】

※ここでは、地区内の学校に対する支援策、学力向上フロンティアスクールにおける実践研究の成果の普及方策等について特色があると思われる事項について記述し、協議会名を括弧書きすること

(地区内の学校に対する支援策)

- 学習内容の定着（成果）を数値的に示すための方法の紹介（t検定）や豊かな教材作成のための方法の紹介（複数の教科書の比較・活用）（魚津地区協議会）

(実践研究の成果の普及方策)

特になし